

リポジトリはILLを救うか？ ～IRcuresILLプロジェクト報告

静岡大学附属図書館 鈴木雅子

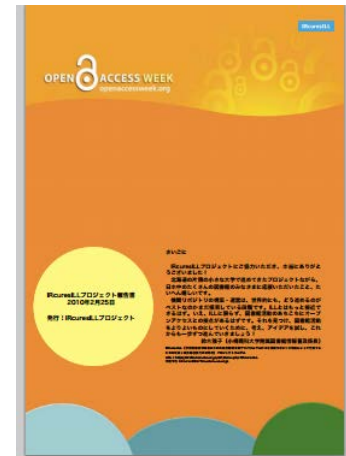


IRcuresILL

- IR = Institutional Repository 機関リポジトリ
- ILL = Interlibrary Loan 相互貸借・文献複写

IRcuresILL(前身)

- 「学術情報資源共有のための図書館間文献デリバリーサービスを機関リポジトリ構築によって代替するための教員・図書館連携方式の開発」(2008-2009年のCSIプロジェクト)
- 小樽商科大学が主担当、北海道大学等と推進し、全国の図書館職員有志と情報共有
- <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?IRcuresILL>



ILLもIRも文献提供サービス

- 遠隔利用者への文献提供サービス
 - ILL: 入手困難な文献を取り寄せる
 - IR: 自著文献を公開したい著者をサポート
- 「文献を、機関リポジトリ(IR)では無料でどんどん読んでもらうのに、なぜ、ILLでは35円とるのか？」
- ILL依頼があった論文はIRに登録すればよいのでは！

ILLでどんな文献の依頼が多い？

- 2008-2009年のIRcuresILLプロジェクトで、国内（NACSIS-ILL）のILL依頼文献を調査した

トップ5の推移(2006~2008)

2006			2007			2008		
1	118	坂野ほか	1	98	坂野ほか	1	85	尾関
2	81	尾関	2	78	尾関	2	76	鈴木ほか
3	64	鈴木ほか	3	67	神村ほか	3	69	坂野ほか
4	60	神村ほか	4	65	鈴木ほか	4	58	神村ほか
4	60	牧野	5	57	牧野	5	50	牧野
6	50	中川	12	39	中川	31	29	中川

- 1年に118回も同じ論文が依頼されている！
- 人気論文は日本語文献で、ずっと人気！

118回のコピーより1回のスキャン！

- 全国のILL担当者がのべ118回、同じ文献をコピーして封筒に詰めて発送する作業をしている
- 誰か1人が1回リポジトリに登録して公開すれば、コピー・発送作業は今後も無くなる
- さらに、文献入手に至らなかった読者も文献を読める
- そうなれば、

**ILL担当者は嬉しい、IR担当者も嬉しい、
著者も嬉しい、読者も嬉しい。win-win-win-win**

ILL上位論文をIRに登録したい

- しかし著者の所属機関にリポジトリがない
 - 2009年度末
 - 上位30件の論文の筆頭著者へのアンケートではオープンアクセス化することに好感触
- 2009年プロジェクトの限界

今ならどうか

- 機関リポジトリ推進委員会コンテンツWG (IRcuresILL班) で、続き2009-2013年の国内 (NACSIS-ILL) ILL依頼文献を調査した

III 人気論文調査で分かったこと

- 人気1位論文の依頼回数はだんだん減っている(2006年は118回、2013年は60回)
- (が、60回だって結構多い)
- そして、人気論文の顔ぶれは変わらない
- 2006年上位5件が8年間1位を譲らず

ILL上位論文をオープンアクセスに

- 上位100件について調査
- 機関リポジトリまたは専用リポジトリで公開



リポジトリ業務をもっと他の 図書館業務とつなげたら



suzuki.masako@shizuoka.ac.jp